

## 【作文小学生高学年の部】

**特選** 佐沼小学校6年 千葉彩香「水に感謝して生きる」

**入選** 加賀野小学校6年 清野玲奈「水は世界の宝物」

**入選** 横山小学校4年 千葉瑠花「みんなで大切に」

**入選** 北方小学校6年 遠藤日和「伝えたいこと」

水に感謝して生きる

佐沼小学校六年 千葉 彩香

私たちの暮らしには水という存在はとて身近にあります。蛇口をひねると、おいしい水が飲めて、私が大好きなごはんを炊くのに水が必要です。ごはんになる米を育てるのにも水が必要です。

今は入れませんが、学校のプールには大量の水が使われています。一体どのくらいの量なんだろうと思います。

新型コロナウイルスが世界中で拡がり、アルコール除菌はあちこちで見ますが、まずは手を清潔にすることが大切と考えられています。うがい、手洗いはずと前からしていたことですが、それにも水がなくてはなりません。

私は学校や学童クラブでたくさん遊んで汗をかくので、夜にゆくりお風呂に入ると、とてもすっきりします。髪や体を洗うためにシャワーを使いますが、いつも気をつけてい

ることがあります。それは、水を出しっぱなしにしないということですよ。母が、「使わない時は止めておいて。」と、よく言います。私は、もったいないからとか水道の料金がかかるからかなと思っただけです。

三才の弟がまだミルクを飲んでいたら、母が話してくれたことがあります。

東日本大震災の時、私は一才で、哺乳瓶を使いミルクを飲んでいて、一本の哺乳瓶を洗うのに、ニリットのペットボトルから少しずつ水を注ぎ、きれいに洗い終わるまでには、ペットボトルがほとんど空になっていったという話を聞きました。一本の哺乳瓶を洗うためにニリットの水を使うということはないこと、蛇口から当たり前に出てくる時には分からないこと、とても貴重な体験だったと話していました。それと同時に、「水」のありがたさを改めて考え、東日本大震災の時から、それまで以上に水を大切にしていかなければいけ

ないと思うようになったそうです。

私は、その話を聞いてなるほどなあと思いました。雨が降りダムに溜まり、浄水場できれいにすれば水はいつでもあるものだと思います。でも異常気象で雨が降らず、ダムに水がほとんどないというニュースを見たこともあります。『いつでもあるもの』ではありません。そして地震などで水道が止まり、いくら蛇口をひねっても水が出てこないなんて想像できません。私は覚えていませんが、

大変な経験をした母は、水の大切さを考えています。私も水は貴重な資源であることを、しっかり考えていこうと思います。

また、私たちが安心して水を飲んだり使ったりできるのは、水道を管理してくれる人たちがいるからです。少し前に、私の家の近くで工事をしていた、家の蛇口から茶色の水が出てきたことがありました。その日、夜遅くまで工事の人たちや市の水道課の人たちがいて、なぜ茶色の水になったのか調べ、きれい

な透明な水にしてくれました。道路の下には  
たくさん水道管があり、安全に使えるよう  
に管理してくれる人がいます。そのことを忘  
れずに、感謝の気持ちを持っていいことと思  
います。

私たちが暮らして行く中で、水は欠かすこ  
とができない存在です。家で過ごしていても、  
学校で過ごしていても、身近にある水に感謝  
して、大切に使用していると思います。

# 水は世界の宝物

加賀野小学校

六年

清野

玲奈

私達は毎日、水を使っています。

お風呂やトイレなど、色々な所で水を使っ

ています。私は水を使えることは当たり前だ

と思っています。しかし、世界に目を向け

ると、そうではないことに気づきました。テ

レビではいろいろな国の番組やニュースが流

れることがあります。私はある番組を見て、

おどろきました。「当たり前のように使える

と思っています。水が当たり前ではなかったの

です。アフリカの国では、私より小さい子ども

が、学校に行けず、毎日、何回も何回も生

活のために水をくんでいました。河北新

報のことも新聞で、ネパールのサチコール村

のことも知りました。水道もなく、雨水をた

めて使っていること、雨の降らない乾期には

水がなくなると、急な山道を往復二、三時間

も歩き、わき水をくまなければならぬこと、

その仕事は子供や女性がすることなど、私の

生活とは大きくちがいはおどろきました。また、サチコール村で支援を行う桜井ひろ子さんが「生きるには水と教育が必要」と言っていて、水の大切さを感じると共にサチコール村の子ども達は水くみの日、学校を休み、教育を受けられないと思うと心が痛みました。現在は三ヶ月かけて水道を完成させ、以前よりも水が使いやすくなりました。この新聞記事を続けて、私の生活が当たり前ではないのだと思いました。

私は、アフリカやネパールの例から、当たり前で身近にある水を節約することが大切だと思いました。歯みがきをしている時は水をとめるなどいろいろな節約方法があります。私は家でお風呂そうじをしたことがあります。私はお風呂の栓を閉め忘れ、一回分のお風呂の水を無駄にしてしまっただことがあります。しかし、今はお湯をためる前にしっかり確認しています。このように少し工夫することにより、水の無駄使いを減らすことができます。

水がないと食事も作れない、植物も育てられない、水がないと不便であることはたくさんあります。このような不便をなくすために、水は出したままにしない、ごはんはできるだけ残さないようにしようと思いました。植物も水があれば元気に育つ。水があれば、お料理をして、おいしいごはんが食べられる。水は、植物、動物、人すべての物を豊かにしてくれると思いました。

このような事から私は、世界中の全ての人々が水を便利に使えるようになって、たら良いなと思います。

そして、アフリカやネパールの子ども達もたくさん学校に行けるようになり、水が便利に使いやすくなると思います。遠くはなれているけれど、自分が出来る事を考え、やっていきたいです。その一つに、水を無駄にせず、大切に使うていきたいと思っています。誰もが、日本のように人の力できれいな水を使えるようになつたら良いなと思います。ま

た、たくさんの方が世界の水のことや水の大切さを知って、水を無駄にしないように心がけていてほしいと思います。これからもきれいな水に感謝し、次の世代にもきれいで豊かな水をつなげていきたいです。

みんなが大切に

登米市立横山小学校 四年 千葉 榴花

（そうか、お母さん外言ってたのは、このことか。）

私の家では、お風呂の水を洗濯に使っていいました。でも、三年生だった私は、なぜ使っているのか分かりませんでした。私は、お母さんに、「なんで一度使った水を使っているの。」と聞いたけど、お母さんは、

「四年生になれば分かるよ。」

というこたえだけお返してきました。

四年生の社会の学習で、水がきれいになるまでの仕組みについて勉強しました。汚れている川の水をくみ上げ、薬を入れたり、ろ過をしたりと、水をきれいにするまでの作業は、私が想像していたよりも、とても大変でした。

私は、お母さんやお風呂の水を洗濯に使っていたことがこの時初めて分かりました。

お母さんは、お風呂の水を無駄にせず、それを洗濯に使っていたのです。お母さんは、よく水を大切にしていること、お母さんは、た。

私も、お母さんのように、水を大切にしながら、くちは、川けない、なあと考えました。そこで、私が気を付けようと思っ。たこと、の。一つ目は、水を飲むと手です。私は、コップ、の。お風呂に水をくんで、全部飲まずに捨ててしまふこと、お母さん、ありました。今までは、何

も考えずに捨てていたけど、飲みきれぬ分だけ、くんで飲むうと思ひました。そして、二つ目は、歯をみがくときです。私は、うがいをすると、水を出し、ばなしにしてしまひました。出し、ばなしにすること、水を何リットルも使うことも、教えてもらいました。だから、これからは、コップを使つて水を無駄にしないようにしたいと思ひました。

水をきれいにすること、が大変なことで、お

んなで大切にすることを必要があると考えます。だが  
か、私は、もちろん、友達や周りの人たちに  
にも、水の大切さを伝えたいと思います。

伝えたいこと

北方小学校

六年

遠藤

日和

私はこの水道週間でみんなに伝えたいことが三つあります。

一つ目は、「水を大切に」ということです。みんなは「水を大切に」と言っているけれど、どうやってたら大切にできるのだらうと思ったからです。私はおじいさんに聞いてみました。そしたら、

「水を節約して、無駄遣いをしないことじゃないか？」

と言われました。その言葉で五年生の時のことを思い出しました。私が、ろう下を通ったときに、出しっぱなしの水道があったので、<sup>ジャ</sup>口をしめました。あの時、もし自分が気付いていなかったら水を無駄にしていたという事になっていました。みんなが「水を大切に」という言葉だけでなく、行動にうつしてほしいという事を伝えたいです。

二つ目は、水のありがたさです。みんなは

じゃ、口をひねると水が出てきてすぐに飲めるのが当たり前だと思っ  
ているかもし水ません。私もこの前までは同じように思っ  
ていました。でも、授業で話を聞いて、「おいしい水がじゃ  
口から流れてくるのは当たり前ではないとい  
うことがかりました。都会の方では工場な  
どが多く、大気汚染や水のごみなどが発生  
し、安全でおいしい水を簡単に飲むことが難  
しいということでした。だから、ペットボト  
ルの水を買って飲んでいるとい話も聞きま  
した。この話を聞いて、登米市に任んでいる  
私たちがふだん飲んでいる水はともおいし  
くて、じゃ、口をひねればすぐに飲めるのであ  
りがたいものだということがかりました。  
飲料水だけでなく、田んぼや畑、プールや理  
科の実験など身の回りにあるものには、水が  
たくさん使われています。そして、宮城県の  
中でお米がおいしいと言われている登米市  
の「ひとめぼれ」など、始まりは全て水から  
なのです。水がないとお米は育ちません。だ

から、水は特別なものだと言えろと思ひます。そんな登米市の水に感謝の気持ちをおぼれてはいけないと思ひます。

三つ目は登米町にある浄水場とその近くに  
ある北上川にっいてです。私は四年生の時に  
浄水場の見学に行きました。そのときに、い  
ろいろな場所を見せてもらいました。浄水場  
は公園のようにきれいで広々としていました。  
そしてそのそばを流れる北上川はとても大き  
かっただです。あまりの大きさにびっくりする

ほどでした。以前岩手県に行つたとき、北上  
川が流れてゐるのを知り、他県までのびてい  
るのはすごいと思ひました。こんなに大きな  
北上川があるからこそ、おいしい水があるん  
だなあと思ひます。しかし、疑問に思つてい  
ることもあります。それは、北上川の水の色  
です。北上川の水の色が少しにごつていまし  
た。それには大きな原因があるのではないか  
と思ひます。それは、台所などで使つた油を  
そのまま流しに捨てたり食べ残したもののや飲

み残したものをそのまま流しに捨てたりする  
からではないかと思えます。また、農薬など  
も考えられます。そこで、それらのことを防  
ぐために私たちが工夫できることはないかと  
考えました。油を使っ、そのまま捨てる  
いうことを防ぐために、ゼラチンで固める、  
小さくなつた服や古い布などで吸い取るなど  
が考えられます。また、飲み残しが出ないよ  
うに多く作らないことも大切だと思います。

農薬については、できるだけ無農薬にすると  
いうことを考えました。実際に私の家では、  
油はゼラチンで固めることと、油こしで油を  
こしてためるという工夫をして、少しでも水  
をよごさないように努力しています。

この三つの中で私が一番伝えたいことは、  
二つ目の安心・安全でおいしい水は当たり前  
ではないと言ふことです。水のありがたさを  
忘れずに、私たち一人一人ができることを行  
動にうつして、この水からもおいしい水を守っ  
ていきたいと思えます。